

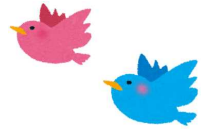


二小っ子

元気いっぱい やさしさいっぱい 本気でがんばる二小っ子

第12号
令和6年3月19日
天理市立二階堂小学校
文責 島田 宇一郎

ご卒業おめでとうございます “翔べ！ 未来へ” 二小っ子



6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。そして1~5年生のみなさんは、令和5年度の修了を迎えます。二階堂小学校での生活で、みなさんは、光り輝く笑顔と優しさ、一生懸命に打ち込む姿をたくさん見せてくれました。全てが平坦な道ではなかったと思いますが、毎日の歩みの中で、自分たちの成長にとってプラスにしてきました。先日、テレビを見ていると、「失敗の学びからこそ、成功が生まれる」という話をされていました。正にそうだと思います。みなさんにとっては、毎日が学びの連続で、その全てが成長の糧になってきたと思います。

さて、3月12日(火)、「翔べ！ 未来へ」を作詞された^{まつい みき}松井美紀さんが、二階堂小学校に来てくださいました。「翔べ！ 未来へ」という曲は、二階堂小学校創立百周年を迎える前年、小学6年生だった松井さんが、様々な思いを込めて作詞された曲です。作曲は、当時の音楽の先生がされたそうで、何度も何度も相談しながらつくったそうです。

4~6年生の卒業式練習の際に、松井さんから子どもたちに、「翔べ！ 未来へ」の歌詞に込めた思いを語っていただきました。



6年生のとき、これからの未来へのドキドキや不安もありながら歌詞を考えました。

◇「りっぱな鳥になれる子ども」

いろんな人の話をきいてヒントをもらい、自分が納得できる判断ができる人になってほしい。自分の夢をかなえていける人になってほしい。

◇「大空だけでなく、大地にも咲けるように」

いろんな夢があつてよいと思う。大空だけでなく、大地にも咲ける花のようにもあつてほしい。一つの夢がうまくいなくても、別の形で夢をかなえられるようになってほしい。

◇「実は三番もあった…」

この曲の三番も考えていた。いろんな人との縁を大切にしてほしい。仲間と一緒に、いろんな人から応援される人になってほしいという思いを込めて作った。でも、歌詞が長くなるので三番はなくした。



お話しの後、4~6年生の子どもたちが元気に「翔べ！ 未来へ」を歌い、松井さんにきいていただくことができました。松井さんは、「みんなに元気に歌ってほしいと思って作りました。自分なりに自分が納得いく姿で、キラキラ輝く人生を歩んでほしい。」と、子どもたちにエールをおくってくださいました。



子どもたちが大好きな曲、「翔べ！ 未来へ」を作詞された二階堂小学校の先輩に直接お話をきかせてもらい、歌声をきいてもらえる機会をもてたことを、心よりよかったです。歌詞に込められた松井さんの思いにこたえるため、「翔べ！ 未来へ」を大切に歌い継いでいきたいです。6年生のみなさん、未来に大きく飛びたってください。

